

弘前大学農学生命科学部地域環境工学科農業土木コース

平成29年度 教育評議会 記録（案）

日時：平成30年3月17日（土）15：30～17：00

場所：農学生命科学部203講義室

出席者：〔学外委員〕 櫻田(隆), 桜田(清), 山田, 小中, 中村, 小笠原

〔プログラム教員〕 泉, 遠藤, 加藤, 加藤(千), 佐々木, 鄒, 檜垣, 藤崎, 丸居, 森, 森谷

進行：藤崎 記録：丸居

前回の記録の確認

資料の通り承認された。

議 事

（1）平成29,30年度教育評議員について

資料1-1に基づき、教育評議会委員について説明があり、新たな委員として小笠原康雄氏、また、新たな教育褒章委員に桜田清治氏の就任が了承された。

（2）2016年継続審査を踏まえた今後の対応

資料2-1に基づき、認定継続審査の最終審査結果について説明があった。資料2-2に基づき、指摘事項に対する今後の対応について、6年後の継続審査に支障がないように、カリキュラム改正時期と合わせて数年かけて行う旨の説明があった。

（3）学生の学習目標達成状況

資料3-1に基づき、卒業予定学生の学習到達目標、単位習得状況について説明があり農業土木コースの修了要件を満たしていることを確認した。資料3-2に基づき、1年生から3年生までの学生の面談結果および就学状況について説明があった。最近の国際化の流れから英語に力を入れる方が良いと意見があった。

（4）教育褒賞

資料4に基づき、学部アンケートによる新たな褒章制度について説明があり、前年度後期分と当該年度前期分を対象に選出することについて承認された。今年度はH29年前期のみを対象として加藤幸先生が褒章の対象になることとなった。学外委員より、学部アンケートは大学の教員評価につながるのかという質疑があり、教育改善のためのみであるとの回答があった。また、アンケート内容が教育改善につながるようにと意見があり今後検討することとした。

（5）就職状況

資料5に基づき、卒業予定者の就職状況について説明があった。

（6）その他

資料6-1に基づき、認定プログラムの年次報告書について報告があった。

資料6-2に基づき、JABEEの2019年度基準改定について説明があった。

その他、学外委員より、現在、技術者の確保が求められておりJABEE卒業生が技術士試験を受験してほしいとの意見があり、大学や官公庁、民間企業のそれぞれが受験者増について取り組む必要性を確認した。また、次年度以降に技術士の農業土木と農村環境が統合されるとの参考意見を頂いた。